



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL <https://www.axell.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 昭宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 植野 悦匡 TEL 03-5298-1670
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,690	29.6	1,280	34.9	1,428	46.8	1,130	38.6
2022年3月期第3四半期	8,246	32.2	949	208.5	973	112.9	815	131.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,199百万円 (59.7%) 2022年3月期第3四半期 751百万円 (78.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	104.24	104.11
2022年3月期第3四半期	75.43	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	13,525	11,439	83.8	1,042.96
2022年3月期	12,274	10,629	86.0	974.54

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,335百万円 2022年3月期 10,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2023年3月期	-	0.00	-		
2023年3月期（予想）				63.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2023年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当47円 記念配当16円（上場20周年記念配当）

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,400	25.6	1,220	45.4	1,360	35.7	1,020	17.8	93.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	11,211,989株	2022年3月期	11,211,989株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	343,474株	2022年3月期	383,597株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	10,844,972株	2022年3月期3Q	10,809,726株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	9
最近における四半期毎の業績の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が着実に普及し、社会経済活動が正常化に向かいつつあるものの、ウクライナ情勢の長期化や世界的な資源価格の高騰、さらにはインフレ懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、新台の年間販売台数が低減傾向を示すなど厳しい市場環境が続いておりましたが、市場の縮小傾向は2020年度に底を打ったものと分析しております。また、スマートパチンコ・スロット等の次世代遊技機の登場により、当連結会計年度におきましては底堅く推移するものと分析しております。

かかる環境の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、パチンコ・パチスロ機市場での安定収益確保に向けた取り組み、組み込み機器市場（注1）に向けたグラフィックスLSIの販売拡大、さらにはミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティの新規4領域における早期事業化に向けた活動に注力いたしました。また、新規事業の展開を加速させる観点から、アライアンスや出資の検討等を積極的に実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比2,444百万円増（同29.6%増）となる10,690百万円となりました。売上総利益は売上高の増収に伴い前年同四半期比732百万円増（同26.9%増）となる3,460百万円となっております。販売費及び一般管理費は、前年同四半期比401百万円増（同22.6%増）となる2,180百万円となりました。販売費及び一般管理費のうち研究開発費は、前年同四半期比284百万円増（同30.9%増）となる1,206百万円となっております。

以上により、営業利益は前年同四半期比331百万円増（同34.9%増）となる1,280百万円となりました。また、営業外収益にNEDO助成金収入114百万円を計上した結果、経常利益は前年同四半期比455百万円増（同46.8%増）となる1,428百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比315百万円増（同38.6%増）となる1,130百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。また、下記セグメントのほか、各セグメントに配分していない全社費用が526百万円となっております。

①LSI開発販売関連

LSI開発販売関連は既存事業であるパチンコ・パチスロ機向け製品で構成されており、売上高は前年同四半期比2,293百万円増（同29.1%増）となる10,183百万円、セグメント利益は同369百万円増（同21.4%増）となる2,094百万円となりました。主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは前年同四半期に対し約3万個増加となる38万個の販売となったことに加え、メモリモジュール（注2）製品が採用顧客の好調な販売動向に支えられ、前年同四半期を大幅に上回る販売となりました。また、当第3四半期末の同セグメントの受注残高は22,891百万円となっております。なお、世界的な半導体の供給不足の影響から多くのメーカーにおいて部材を積極的に確保する動きを見せており、本受注残高には来期、再来期の販売予定分が含まれております。

②新規事業関連

新規事業関連は、組み込み機器向け製品に加え、ミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティ領域に向けたスタートアップ事業であり、機械学習/AI領域での売上高を中心に、売上高は前年同四半期比150百万円増（同42.3%増）となる507百万円、セグメント損失は同27百万円減（前年同四半期は314百万円の損失）となる287百万円となりました。

（注1）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

（注2）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で1,250百万円増加となる13,525百万円（前連結会計年度末比10.2%増）となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産の増加（1,012百万円）、商品及び製品の増加（205百万円）に対し、現金及び預金の減少（84百万円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で440百万円増加となる2,085百万円（同26.8%増）となりました。主な要因は、買掛金の増加（409百万円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で809百万円増加となる11,439百万円（同7.6%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（697百万円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想は、2022年9月21日に開示いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。なお、当第3四半期末のLSI開発販売関連セグメントの受注残高は22,891百万円となるなど、足元の受注動向は極めて高い水準を示していることに加え、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業利益以下の各利益で通期業績予想値を超過する状況となっております。しかしながら、パチンコ・パチスロ機業界におけるサプライチェーンの混乱は収束しておらず、当社製品をはじめとするパチンコ・パチスロ機構成部材の調達面には引き継ぎ不透明さが残っていること等を鑑み、現時点において予想値の見直しを実施する状況にはないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,097	9,013
売掛金及び契約資産	1,039	2,051
商品及び製品	771	976
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	101	256
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	11,010	12,296
固定資産		
有形固定資産	105	130
無形固定資産		
のれん	29	20
その他	24	21
無形固定資産合計	53	42
投資その他の資産	1,104	1,055
固定資産合計	1,264	1,228
資産合計	12,274	13,525
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,094	1,504
未払法人税等	136	178
賞与引当金	—	72
その他	374	289
流動負債合計	1,605	2,045
固定負債		
資産除去債務	39	40
固定負債合計	39	40
負債合計	1,645	2,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,028	1,028
資本剰余金	882	889
利益剰余金	8,777	9,475
自己株式	△301	△270
株主資本合計	10,386	11,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	212
その他の包括利益累計額合計	166	212
新株予約権	27	31
非支配株主持分	49	72
純資産合計	10,629	11,439
負債純資産合計	12,274	13,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,246	10,690
売上原価	5,518	7,229
売上総利益	2,728	3,460
販売費及び一般管理費	1,778	2,180
営業利益	949	1,280
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
投資事業組合運用益	15	28
助成金収入	—	114
その他	1	1
営業外収益合計	24	152
営業外費用		
為替差損	0	4
その他	0	0
営業外費用合計	0	4
経常利益	973	1,428
特別利益		
会員権売却益	—	2
その他	—	0
特別利益合計	—	2
特別損失		
減損損失	0	2
会員権評価損	—	5
子会社清算損	0	17
特別損失合計	1	25
税金等調整前四半期純利益	971	1,405
法人税等	154	252
四半期純利益	817	1,153
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	815	1,130

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	817	1,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	46
その他の包括利益合計	△66	46
四半期包括利益	751	1,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	749	1,177
非支配株主に係る四半期包括利益	1	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の拡大状況や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	L S I 開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	7,889	356	8,246	—	8,246
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,889	356	8,246	—	8,246
セグメント利益又は損失 (△)	1,725	△314	1,410	△461	949

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△461百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	L S I 開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	10,183	507	10,690	—	10,690
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,183	507	10,690	—	10,690
セグメント利益又は損失 (△)	2,094	△287	1,807	△526	1,280

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△526百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他
最近における四半期毎の業績の推移
2023年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2022年4月～ 2022年6月	第2四半期 2022年7月～ 2022年9月	第3四半期 2022年10月～ 2022年12月	第4四半期 2023年1月～ 2023年3月
売上高	3,426	3,635	3,629	—
売上総利益	1,109	1,157	1,193	—
営業利益	343	521	415	—
経常利益	343	549	535	—
税金等調整前四半期純利益	346	527	531	—
四半期純利益	298	416	438	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	293	407	429	—
四半期包括利益	277	396	525	—
1株当たり四半期純利益	27.12円	37.59円	39.50円	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	11,948	12,967	13,525	—
純資産	10,475	10,899	11,439	—
1株当たり純資産	959.68円	995.15円	1,042.96	—

2022年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2021年4月～ 2021年6月	第2四半期 2021年7月～ 2021年9月	第3四半期 2021年10月～ 2021年12月	第4四半期 2022年1月～ 2022年3月
売上高	2,340	2,680	3,224	2,420
売上総利益	736	856	1,134	788
営業利益又は営業損失(△)	195	309	444	△110
経常利益	198	324	449	28
税金等調整前四半期純利益	197	324	448	28
四半期純利益	154	262	400	52
親会社株主に帰属する 四半期純利益	158	263	394	50
四半期包括利益	156	226	368	71
1株当たり四半期純利益	14.63円	24.34円	36.43円	4.64円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	10,790	11,062	12,195	12,274
純資産	9,906	10,156	10,534	10,629
1株当たり純資産	913.12円	933.95円	967.95円	974.54円